

## 大阪府の養豚農場における新型インフルエンザ疑い事例の発生について

本日、大阪府の養豚農場の豚のインフルエンザ検査において新型インフルエンザの疑いがあるウイルスが確認されました。  
(独)農研機構動物衛生研究所において、引き続き確定診断を実施しています。  
なお、世界保健機関 (WHO) 等の国際機関によれば、適切に処理された豚肉を食べて人がインフルエンザに感染することはありません。

### 1. 経緯

本日、(独)農研機構動物衛生研究所より、大阪府の養豚農場で分離されたインフルエンザウイルスについて、H 亜型検査 (遺伝子解析) を実施した結果、新型インフルエンザの可能性があると報告がありました。

現在、動物衛生研究所において新型インフルエンザの確定診断に必要な N 亜型検査 (遺伝子解析) を実施中です。

当該農場からと畜場へは、検査で陰性を確認した豚を出荷しています。

### 2. 今後の対応

N 亜型の遺伝子解析の結果が判明した段階において、新型インフルエンザであることが確認された場合には、当該農場に対し、検査で陰性であることが確認されるまでの間、豚の移動自粛をするよう、要請します。

#### ■ 報道機関へのお願い

1. 現場での取材は、本病の豚への感染を引き起こすおそれもあることから、厳に慎むようお願いいたします。
2. 今後とも、本病に関する情報提供に努めますので、生産者等の関係者や消費者が根拠のない噂などにより混乱することがないように、ご協力をお願いいたします。

世界保健機関 (WHO) 等の国際機関によれば、適切に処理された豚肉を食べて人がインフルエンザに感染することはありません。